

秋田・秋田城跡

伴う材木塀が二時期の計四時期の変遷があり、政庁域も築地土塀が二時期、掘立柱塀が三時期、布堀り溝を伴う材木塀の時期と区画施設に変遷がある。

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 所在地 | 秋田市寺内 |
| 調査期間 | 第五四次調査 一九八九年(平1)四月~一二月 |
| 発掘機関 | 秋田市教育委員会秋田城跡調査事務所 |
| 調査担当者 | 小松正夫・日野久・松下秀博・西谷隆 |
| 遺跡の種類 | 城柵官衙跡 |
| 遺跡の年代 | 奈良~平安時代 |
| 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要 | |

秋田城跡は秋田市の中央部西端、日本海に面した標高約40mの高清水丘陵上にある国指定の史跡である。これまでの調査の結果をまとめるに以下のようなことが判明している。

(1) 東西五五〇m、南北

五五〇mの不整多角形の外郭と東西九四m、南北七七mの長方形の政庁域の二重の囲繞施設がある。

(2) 外郭は瓦葺きの築地

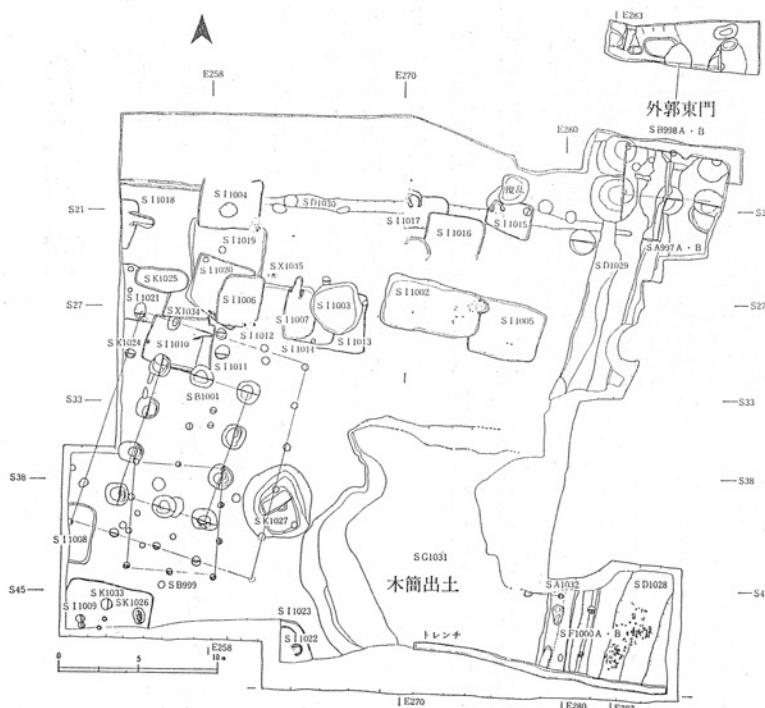
土塀が二期、布堀り溝を



(秋田)

第五四次調査はこのような調査結果のもと、これまで不明であった外郭東門を検出することを目的に外郭推定線と政庁東門の軸線の東延長線が交差する地点を対象に実施した。検出した遺構は桁行三間、梁間二間の掘立柱式の外郭東門、築地土塀(二時期)、材木塀(二時期)、掘立柱建物(二棟)、竪穴住居(二二棟)、溝状遺構、湿地などである。出土遺物としては、多量の瓦、須恵器、土師器その他に、六〇点以上の墨書土器、四点の漆紙文書、二〇〇点以上の木簡、木製品(斎串、刺串、絵馬、舟形、琴柱、曲物、挽物皿、椀、漆塗り大皿)、管状の編物、檜扇、下駄、横槌、鋤、鍬)などがある。木簡、木製品は外郭東門の南、湿地SG103のスクモ層からまとまって出土し

木材の削屑が多量に混入しており、人為的に廃棄された植物質ものがスクモ化したものと判断された。湿地は外郭Ⅰ期の築地土壙構築に伴う土取り穴に雨水と土砂が溜り形成されたものと考えられ、



第54次調査検出遺構図

外郭Ⅲ期材木壙構築時とⅣ期以降のある時期に整地がなされている。

出土した墨書土器には「門」「□門」「戸」「客厨」「厨」「火」「鎮」「鎮兵」「權目」「佐」「官」「政」「田川」「河郡」「秋」と判読できるものがある。

漆紙文書は四点出土しているが解読の終った二点について紹介したい。

(収文)
漆紙文書(1)

口 ×

口 陸×

口 伍小子

口 壱年十七
口 壱年十六

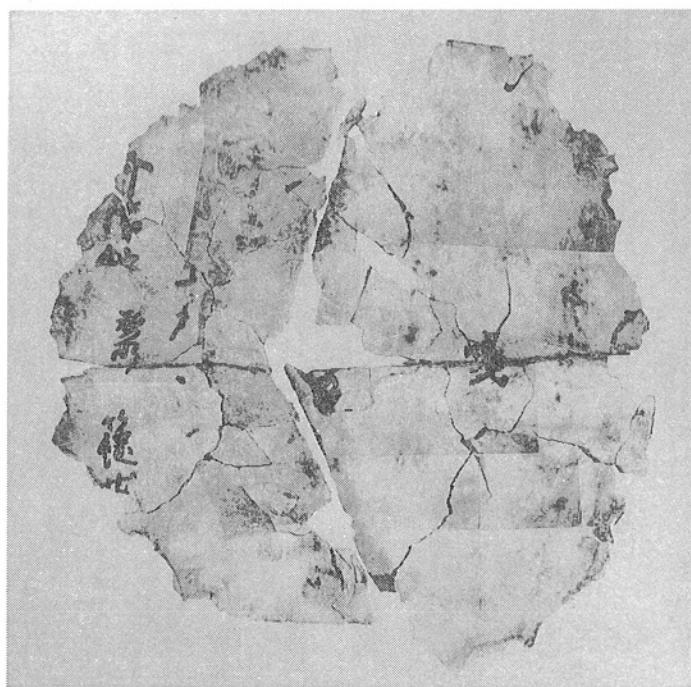
五行一七文字が読みとれる。楷書体で数字が大字であり、口数を

列記した統計的文書と判断される。小子の内訳「年十七」「年十六」の記載は延喜主計式にみえる大帳式と類似し、小子の計「伍」に対して、その内訳「武」と「壹」では合わないが、「壹」の右肩に校合と考えられる墨点が二つ存在しており、国府作成の大帳の案文と考えられる。文書の年代は小子が天平宝字元年四月、従前の一六歳から一七歳に延長されたことから、それ以降のものとみることがができる。

1989年出土の木簡



漆紙文書(2) 表



同 裏

漆紙文書(2)

8 木簡の釈文・内容

129×21×4 033

(釈文)
(表)

〔謹啓カ〕

(1)

「▽春米嶋守」

(2)

「▽春米長万呂」

151×21×4 033

勘取金壺口右外カ 在南大室者
□若有忘怠未取者乞可

令早勘取隨恩得便付國カ

□縁謹啓

(3) 「○三月四日八升×

(127)×(16)×4 081

(4) •▽延暦十年四月廿一日

(145)×27×6 032

•▽□□□

五月六日卯時自蚶形駅家申

〔上カ〕

竹田繼□

(裏)

封

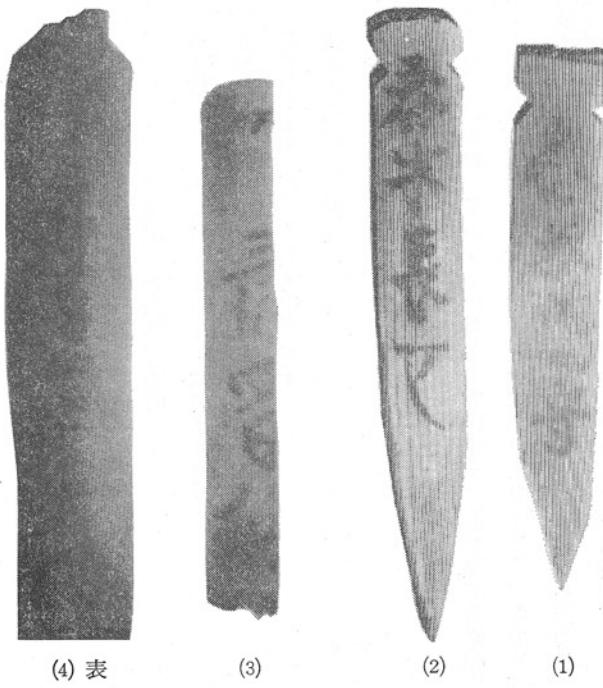
介御館 務所 竹継状

書状がほぼ全紙、帶封の状況が復元できる完全な形態で出土した。直徑が約二六cmの円形で「フタ」紙の形状を良く残している。四つ折りの状態で木筒出土のスクモ層下約四〇cmの砂層から出土した。

竹田繼□が蚶形駅家から秋田城にある介の館の務所宛に出した書状とと考えられる。年代的には出土層位から八世紀後半頃と判断される。

蚶形駅家は延喜兵部省式諸国駅伝馬条に「蚶方」とみえており、現在の秋田県南部沿岸の象潟にあたる。

この他にも表裏に一〇名程の歴名のあるもの、「上野国」の国名のみえるもの、「食米」「殿門酒」「食料」「主糧」など食料、酒などの授受に関わるもの、賛書など多様な内容の木簡があるが、今後報



告の予定である。なお、年紀のあるものとしては他に「延暦十三年」(七九四)の木簡がある。
木簡、漆紙文書の解読に関しては国立歴史民俗博物館平川南氏の御教示によった。

9 関係文献

秋田市教育委員会『平成元年度 秋田城跡発掘調査概報』(一九八九年)

(日野久)

木簡研究 第九号

田中 稔

卷頭言 一九八六年出土の木簡

概要	平城宮・京跡	興福寺旧境内	藤原京跡	和田廃寺
橘寺	曲川遺跡	長岡京跡(1)	長岡京跡(2)	長岡京跡(3)
岡京跡(4)	平安京右京三条二坊八町	平安京右京五条一坊三町	平安京右京五条一坊六町	平安京右京八条二坊二町
町	平安京右京三条二坊八町	平安京右京五条一坊六町	平安京右京五条一坊六町	平安京右京八条二坊二町
安京右京八条二坊二町	平安京右京八条二坊十二町	伏見城跡	大坂城跡	安堂遺跡
跡	但馬国府推定地	初田館跡	福田片岡遺跡	津田トッパナ遺跡
弥布ヶ森遺跡	吉地薬師堂遺跡	胆沢城跡	萱振A遺跡	萱振B遺跡
清洲城下町遺跡(1)	清洲城下町遺跡(2)	居倉遺跡	土橋遺跡	神照寺坊跡
駿府城三の丸跡	東京大学構内遺跡	浜野川遺跡	新青渡遺跡	淨琳寺遺跡
遺跡	浜野川河床遺跡	吉野ヶ里遺跡	払田柵跡	光相寺遺跡
根城跡	生石2遺跡	田名遺跡	中島田遺跡	中島田遺跡
万布遺跡	辻遺跡	周防國府跡	大宰府跡	大宰府跡
國府跡	富田川河床遺跡	井相田C遺跡	中島田遺跡	中島田遺跡
敦煌凌胡際址出土冊書の復原	草戸千軒町遺跡	吉野ヶ里遺跡	大宰府跡	大宰府跡
漆紙文書集成	周防國府跡	吉野ヶ里遺跡	井相田C遺跡	井相田C遺跡
正倉院木簡の用途——原秀三郎氏の所説に接して——	辻遺跡	周防國府跡	中島田遺跡	中島田遺跡
岸俊男会長の思い出	富田川河床遺跡	吉野ヶ里遺跡	大宰府跡	大宰府跡
国語の表記史と森ノ内遺跡木簡	吉野ヶ里遺跡	吉野ヶ里遺跡	中島田遺跡	中島田遺跡
一九七七年以前出土の木簡(九)	周防國府跡	吉野ヶ里遺跡	大宰府跡	大宰府跡
平城宮跡(第三二次補足調査)	吉野ヶ里遺跡	吉野ヶ里遺跡	中島田遺跡	中島田遺跡
頒価	稻岡耕二	稻岡耕二	大庭脩	大庭脩
三八〇〇円			平野邦雄	平野邦雄
四〇〇円				